

大分教育事務所訪問 32

大分市立鶴崎中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「確かな学力と たくましさを身につけた 心豊かな生徒」を育成するために、学校経営のローガンとして「**チーム鶴崎 ～さらなる前進～**」と定め、「**熱意**」「**創意**」「**誠意**」の『三意の精神』で、4つのチームを中心に組織的に取り組んでいます。

学校経営の重点目標については、各項目について成果と課題を明確にし、取組状況と達成状況を総合的に評価し4段階の数値で示しています。このような見える化を行うことで、教職員だけでなく保護者や地域にもわかりやすく、翌月の行動がより焦点化されていると思いました。

今後は、「取組項目」の各項目について、生徒達にどのような「資質・能力（3本柱）」を育成するのかを明確にすることで、各教職員はそれぞれの取り組みが「**なんのため**」に行うのか、その目的に対する共通理解が深まると思いました。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まり、よりチームとしての取り組みが推進されると感じました。



NO.152 2021年6月 大分市立鶴崎中学校

熱意

教師の熱意が生徒に伝わる。生徒のやる気が教師に伝わる。授業は共に創る。

授業から学ぶ

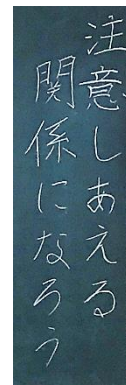
1年生の教室では、友達の発言に対して好感的に受け止め、つなぐような発言が多く見られました。2年生の数学では、ペア学習を行うことでそれぞれ多様な考えを効果的に理解する工夫がありました。3年生はICTを効果的に使用することで生徒の意欲を高める工夫がありました。校長先生が最も育成したい「**自分の考えを表現、説明する力**」に対する工夫をみることができました。



NO.154 2021年6月 大分市立鶴崎中学校

誠意

友達の考えを理解しようとして聴く。お互いの良さを認め合う。だから、教室に笑顔があふれる。



NO.153 2021年6月 大分市立鶴崎中学校

創意

学び合うことで、いろいろな考えや思いを知る。だから、新たな発見がある。



今後は、授業の終末の「振り返り」では、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「**生徒を主語**」として表すことで、「ねらい」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで授業力がより向上すると思いました。